

山根口腔インプラント研究所からの伝言

ボーンレベルテーパード (BLT)

インプラント

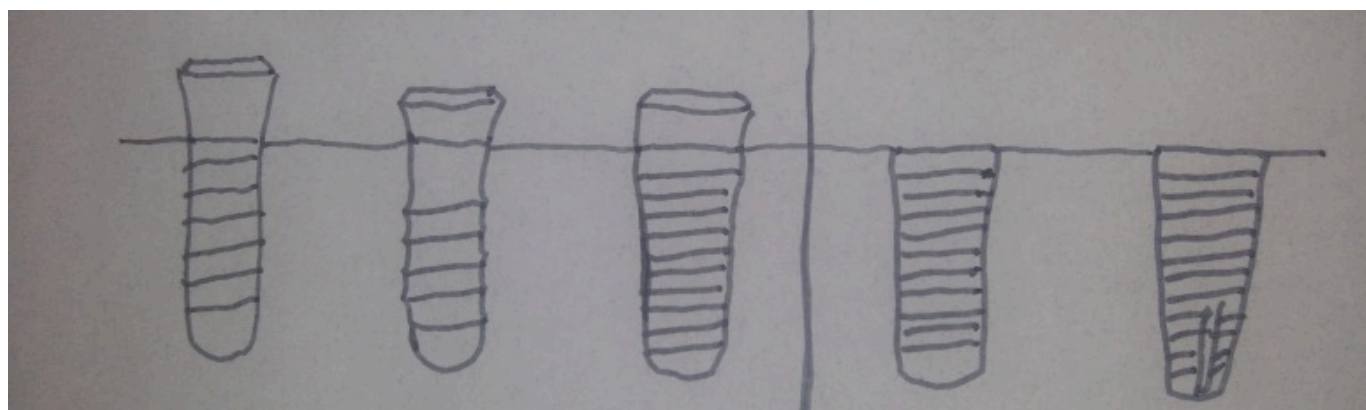
医療法人社団山根歯科医院
理事長 山根 進



山根歯科医院では 40 年前より、一貫してストロマンデンタルインプラントシステムを使用し、今まで、患者様のインプラント治療を行ってきました。その間、ストロマン社のインプラントシステムの改良が行われ、当院も、それに従い、インプラント治療の改善を実施してきました。例えば、インプラント体のデザインですが、この 40 年間で、色々変化してきています (下図)。デザインは症例に合わせて粘膜貫通型のスタンダード (S)、スタンダードプラス (SP)、テーパードエフェクト (TE)、粘膜封鎖型のボーンレベル (BL)、ボーンレベルテーパード (BLT) があります。BLT は筒状の BL の根尖部位にテーパードを与えたものであります。初期固定を必要とする抜歯窩に適しています。また、根尖が細くなっているために、骨の切削量は少なく、骨の外へ貫通したり、近接する歯牙、インプラント、神経繊維組織を傷つける確率も低くなります。より安全なインプラント体ということになります。BLT インプラントは BL インプラントと同じく、粘膜貫通型では、前歯部の審美性の回復が難しかったですが、BL、BLT インプラントではカスタムインプラント支台 (チタン、ジルコニア) を使用することにより、容易に審美性を回復することができるようになりました。また、インプラント体はチタンにジルコニアを配合した Roxolid で作製され、機械的強度も強くなっています。

粘膜貫通型 (ティッシュレベル)

粘膜封鎖型 (ボーンレベル)



S

SP

TE

BL

BLT